

2025年1月31日

香川県小豆島町

株式会社 JTB

## 香川県小豆島町と JTB が地域活性化起業人制度を活用した人材派遣協定を締結

### ～ 20 年先の小豆島をつくるプロジェクトを加速 ～

香川県小豆島町と株式会社 JTB は、小豆島の持続的な発展を目的とした「20 年先の小豆島をつくるプロジェクト」の推進に向け、地域活性化起業人制度を活用した人材派遣協定を 2025 年 1 月 31 日(金)に締結しました。



#### ■協定の背景・目的

小豆島の 20 年先の未来を見据え、JTB と小豆島町は、地域行政や事業者などとともに、「観光」を基盤とした持続可能な産業を作っていくことを使命に、2024 年 8 月 1 日、「20 年先の小豆島をつくるプロジェクト」<sup>注1</sup>を発足しました。

小豆島において、最優先課題のひとつが、全国よりも早く直面している人口減少と少子高齢化への対応です。特に若年層の流出が深刻で、これは学校の統廃合など教育環境の縮小を招き、さらなる人口流出につながる恐れがあります。

そのような課題の解決を目指し、プロジェクトの取り組みをさらに加速させるため人材派遣協定を締結しました。人材派遣を通じて、島内における STEAM 教育<sup>注2</sup>の普及促進に取り組むとともに、小豆島中央高校を舞台に、経営や先端技術を活用したビジネス実践の機会を創出します。これらの取り組みにより、小豆島の魅力ある教育環境づくりを推進し、将来的には島外からの離島留学や教育移住を促進することで、小豆島で学びたい人の増加を目指します。

#### ■期間

2025 年 2 月 1 日～2028 年 1 月 31 日

#### ■具体的な取り組み事項

JTBから小豆島町への人材出向を通して、下記の取り組みを推進してまいります。

- (1)「20 年先の小豆島をつくるプロジェクト」全体の推進
- (2)将来的な小豆島町の担い手の育成(STEAM 教育の普及)
- (3)島内若年層に対する、経営や先端技術を活用したビジネスなどの実践の機会を創出

#### ■今後の展望

教育事業において、STEAM 教育の体系化や、小豆島島内の中学校・高校への普及・定着を行い、恒常的に授業が実施できる状態を作っていきます。また、島内若年層に対するビジネスなどの実践の機会の創出についても、協定期間内に小豆島に実装されるプログラムを築き上げていきます。

昨年より進めている、自動運転ボートを活用した海上交通の開発、国立公園寒霞渓での観光誘引コンテンツの開発など、「20 年先の小豆島を作るプロジェクト」を、小豆島に根付く事業として推進してまいります。

## ■小豆島町 町長 大江 正彦からのメッセージ



本プロジェクトは、島の将来を担う若者たちが先端技術を活用したビジネスに触れ、実践的に学ぶことで、社会で生き抜く力を育むことが出来る教育環境を小豆島に整えることを目的としています。

小豆島から新たなビジネスや挑戦が始まり、20年後も活気に満ちた持続可能な島づくりにつながっていくことを期待しております。

注1:「20年先の小豆島をつくるプロジェクト」

※プロジェクト詳細

第一弾:[https://www.jtbcorp.jp/jp/newsroom/2024/08/01\\_jtb\\_shodoshima.html](https://www.jtbcorp.jp/jp/newsroom/2024/08/01_jtb_shodoshima.html)

第二弾:[https://www.jtbcorp.jp/jp/newsroom/2024/08/30\\_shodoshima-autonomous-bus.html](https://www.jtbcorp.jp/jp/newsroom/2024/08/30_shodoshima-autonomous-bus.html)

第三弾:[https://www.jtbcorp.jp/jp/newsroom/2024/11/22\\_11\\_shodoshima-aiboat.html](https://www.jtbcorp.jp/jp/newsroom/2024/11/22_11_shodoshima-aiboat.html)

注2:STEAM教育とは

科学(Science)、技術(Technology)、工学(Engineering)、芸術(Art)、数学(Mathematics)の5つの分野を統合的に学ぶことで、課題解決力や創造力、論理的思考力等を育む教育手法のことを指します。小豆島町においては2023年より、町内の中学生を対象に実施しています。

---

## ■報道関係の方からのお問合せ先

JTB 広報室 TEL:06-6260-5108(大阪) 03-5796-5833(東京)